平成24年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月30日

上場会社名　パーク24株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4666　URL　http://park24.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 西川　光一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長　(氏名) 佐々木　賢一　TEL 03-3213-8900

四半期報告書提出予定日　平成24年9月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第3四半期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第3四半期	102,050	13.8	12,660	45.7	12,290	47.9	6,640	81.2
23年10月期第3四半期	89,690	7.5	8,686	△8.6	8,308	△5.2	3,663	△22.4

(注)包括利益　24年10月期第3四半期　6,160百万円　(65.9%)　23年10月期第3四半期　3,712百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第3四半期	46.29	46.07
23年10月期第3四半期	25.71	25.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年10月期第3四半期	113,702	44,732	39.1
23年10月期	108,935	41,685	38.0

(参考) 自己資本　24年10月期第3四半期　44,403百万円　23年10月期　41,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	―	0.00	―	30.00	30.00
24年10月期	―	0.00	―		
24年10月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年10月期の連結業績予想(平成23年11月 1日～平成24年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	12.0	16,500	24.1	16,000	25.9	9,000	37.5	63.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年10月期3Q	150,284,504 株	23年10月期	149,023,304 株
② 期末自己株式数	24年10月期3Q	6,460,837 株	23年10月期	6,460,877 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年10月期3Q	143,436,306 株	23年10月期3Q	142,491,254 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報…… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項…… 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
(4) 追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表…… 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 11
(5) セグメント情報等 …… 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成23年11月１日～平成24年７月31日）におけるわが国経済は、震災復興需要やエコカー補助金等の政策効果などが相まって、設備投資や個人消費に緩やかながら持ち直しの動きが見られております。一方、欧州の債務危機を巡る不確実性は依然として高く輸出は弱含んでおり、原油価格の上昇や円高、デフレ基調の継続など懸念材料も多く、その先行きは不透明な状態が続いております。

このような環境のもと当社グループは、快適なクルマ社会の実現に向け、「駐車場事業」においては件数・台数の拡大を、「モビリティ事業」においてはレンタカーサービスの収益基盤拡大とカーシェアリングサービスの市場創造に努めてまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の当社グループの売上高は1,020億50百万円（前年同期比13.8％増）、営業利益126億60百万円（同45.7％増）、経常利益122億90百万円（同47.9％増）、四半期純利益66億40百万円（同81.2％増）と増収増益になりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

「駐車場事業」

開発面においては、量的拡大と収益性を重視した開発を進め、当四半期連結累計期間末におけるタイムズ駐車場の運営件数は前連結会計年度末比107.0％の11,450件、運営台数は同106.2％の379,113台となりました。また、月極駐車場及び管理受託駐車場を含めた総運営件数は同106.1％の12,850件、総運営台数は同104.3％の476,854台となりました。

収益面では優良物件の開発に加え、TONIC（タイムズオンラインシステム）データの分析を通じた施策による既存物件収支改善や、電子マネーやクレジットカード等の決済サービス、近隣店舗向けの駐車チケットの販売等お客様の利便性を高める多様な施策を継続的に実施し、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は825億60百万円（前年同期比9.3％増）、営業利益は173億18百万円（同22.2％増）となりました。

「モビリティ事業」

レンタカーサービスについては、新店開設による営業ネットワークの拡充、法人向け営業の強化等により顧客層の拡大に努めております。また、草創期にあるカーシェアリングサービスについては、配備車両の増加と密着したプロモーション活動による認知度の高まりから、当四半期連結累計期間末における会員数は前連結会計年度末比173.4％の124,622人となりました。昨年３月の株式取得に伴い開始したロードサービスについても概ね堅調に推移しました。

この結果、モビリティ事業全体の当四半期連結累計期間末の車両台数は前連結会計年度末比119.1％の31,239台（うち、カーシェアリングサービスの車両台数は4,251台）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は196億16百万円（前年同期比34.0％増）、営業損失は６億17百万円（前年同期は８億44百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比47億67百万円増加して1,137億２百万円となりました。これは主として機械装置及び運搬具、リース資産等の有形固定資産が51億28百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は、同17億20百万円増加し、689億70百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が38億34百万円増加し、長・短借入金が33億９百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、四半期純利益の計上により66億40百万円、ストック・オプションの行使による新株の発行により10億77百万円増加したほか、利益剰余金の配当により42億76百万円減少したことなどにより、同30億47百万円増加し、447億32百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて12億77百万円減少し、107億４百万円となりました。

当四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、166億25百万円（前年同期比49億65百万円の増加）となりました。主な内訳といたしましては、減価償却費を加えた税金等調整前四半期純利益225億24百万円に対し、法人税等の支払額61億60百万円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用したキャッシュ･フローは、96億39百万円（前年同期比23億14百万円の減少）となりました。これは主として、タイムズ駐車場開設や営業車両の取得に伴う、有形固定資産の取得による支出68億56百万円、長期前払費用の取得による支出22億33百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ･フローは、82億63百万円の資金の支出（前年同期比60億74百万円の支出の増加）となりました。これは、長期借入れによる収入106億円があった一方、配当金の支払額42億80百万円、短期借入金の純減95億27百万円、長期借入金の返済43億81百万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月期の連結業績予想につきましては、「平成23年10月期　決算短信」（平成23年12月15日付）で公表した数値に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

第１四半期連結会計期間より「１株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第２号 平成22年６月30日）および「１株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第４号 平成22年６月30日）を適用しております。

潜在株式調整後１株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間経過後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(4) 追加情報

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年10月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年７月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,997	10,720
受取手形及び売掛金	5,056	5,326
たな卸資産	553	569
その他	8,041	9,334
貸倒引当金	△41	△45
流動資産合計	25,608	25,904
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,437	10,245
機械装置及び運搬具（純額）	18,684	22,715
土地	24,654	24,657
リース資産（純額）	10,553	11,533
その他（純額）	3,507	3,814
有形固定資産合計	67,837	72,966
無形固定資産		
のれん	2,068	1,800
その他	1,016	1,071
無形固定資産合計	3,085	2,872
投資その他の資産	12,403	11,959
固定資産合計	83,327	87,797
資産合計	108,935	113,702
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,961	5,795
短期借入金	22,162	20,025
未払法人税等	3,439	3,136
賞与引当金	958	518
引当金	99	103
その他	12,595	13,437
流動負債合計	41,218	43,017
固定負債		
新株予約権付社債	1,000	1,000
長期借入金	13,290	12,118
退職給付引当金	891	817
引当金	223	252
資産除去債務	3,404	3,626
その他	7,222	8,138
固定負債合計	26,031	25,952
負債合計	67,249	68,970

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年10月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年７月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,864	7,403
資本剰余金	8,618	9,156
利益剰余金	36,259	38,623
自己株式	△9,343	△9,343
株主資本合計	42,399	45,840
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75	41
土地再評価差額金	△620	△1,052
為替換算調整勘定	△411	△425
その他の包括利益累計額合計	△956	△1,436
新株予約権	242	328
純資産合計	41,685	44,732
負債純資産合計	108,935	113,702

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年11月１日 至 平成23年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年11月１日 至 平成24年７月31日）
売上高	89,690	102,050
売上原価	66,838	73,553
売上総利益	22,852	28,496
販売費及び一般管理費	14,165	15,836
営業利益	8,686	12,660
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	5	4
持分法による投資利益	29	4
駐車場違約金収入	27	46
未利用チケット収入	83	107
その他	149	92
営業外収益合計	298	256
営業外費用		
支払利息	322	287
駐車場解約費	304	276
その他	49	62
営業外費用合計	676	625
経常利益	8,308	12,290
特別損失		
災害による損失	76	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,147	－
特別損失合計	1,224	－
税金等調整前四半期純利益	7,084	12,290
法人税、住民税及び事業税	3,557	5,023
法人税等調整額	△137	627
法人税等合計	3,420	5,650
少数株主損益調整前四半期純利益	3,663	6,640
四半期純利益	3,663	6,640

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年11月１日 至 平成23年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年11月１日 至 平成24年７月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,663	6,640
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20	△33
土地再評価差額金	－	△431
為替換算調整勘定	7	0
持分法適用会社に対する持分相当額	20	△14
その他の包括利益合計	49	△479
四半期包括利益	3,712	6,160
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,712	6,160

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年11月１日 至 平成23年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年11月１日 至 平成24年７月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,084	12,290
減価償却費	9,054	10,234
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,147	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	24	△74
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	8	29
受取利息及び受取配当金	△8	△5
支払利息	322	287
売上債権の増減額（△は増加）	△1,113	△269
たな卸資産の増減額（△は増加）	410	461
仕入債務の増減額（△は減少）	161	△425
未収入金の増減額（△は増加）	△35	△24
前払費用の増減額（△は増加）	△775	△568
未払金の増減額（△は減少）	△354	△283
設備関係支払手形の増減額（△は減少）	699	474
その他	836	949
小計	17,463	23,074
利息及び配当金の受取額	8	5
利息の支払額	△359	△294
法人税等の支払額	△5,452	△6,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,659	16,625
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16	△16
定期預金の払戻による収入	16	16
有形固定資産の取得による支出	△8,464	△6,856
有形固定資産の売却による収入	32	32
無形固定資産の取得による支出	△120	△283
投資有価証券の売却による収入	12	20
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△845	－
長期前払費用の取得による支出	△2,279	△2,233
その他	△288	△320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,953	△9,639

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年11月１日 至 平成23年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年11月１日 至 平成24年７月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	7,124	△9,527
長期借入れによる収入	600	10,600
長期借入金の返済による支出	△3,848	△4,381
リース債務の返済による支出	△1,796	△1,750
株式の発行による収入	－	1,077
自己株式の取得による支出	△0	－
配当金の支払額	△4,268	△4,280
その他	－	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,189	△8,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,481	△1,277
現金及び現金同等物の期首残高	12,476	11,981
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,995	10,704

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成22年11月１日 至 平成23年７月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	75,077	14,613	89,690	－	89,690
セグメント間の内部売上高又は振替高	490	28	518	△518	－
計	75,567	14,641	90,209	△518	89,690
セグメント利益又は損失（△）	14,170	△844	13,326	△4,639	8,686

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△4,639百万円には、のれんの償却額△165百万円、全社費用△4,473百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．セグメントの名称変更

従来、「レンタカー事業」としておりましたが、当第３四半期連結累計期間より、㈱レスキューネットワークの営むロードサービスを加え、「モビリティ事業」に名称変更しております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自 平成23年11月１日 至 平成24年７月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	82,458	19,591	102,050	－	102,050
セグメント間の内部売上高又は振替高	101	24	126	△126	－
計	82,560	19,616	102,176	△126	102,050
セグメント利益又は損失（△）	17,318	△617	16,700	△4,040	12,660

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△4,040百万円には、のれんの償却額△267百万円、全社費用△3,773百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。